開かれた議会　市民とともに歩む議会　行動する議会

たきざわ市議会だより

第27号
令和元年５月15日
発行責任者：滝沢市議会議長
編集：広報常任委員会

デザインのイメージ
岩手山・チャグチャグ馬コの里・滝の沢

議会フォーラムを開催

滝沢市議会は、任期４年の最終年度に当たり「市民とともに歩む議会」の実現に向けて、市民と議会がともに考え、未来のたきざわづくりにつなげる目的で「議会フォーラム」を開催します。

○日時／５月26日（日）午後１時30分～午後４時30分
○場所／滝沢ふるさと交流館
○内容／議会報告、基調講演、意見交換
○講師／江藤俊昭氏（山梨学院大学教授）
佐藤　淳　氏（青森中央学院大学准教授）

▲平成27年度の議会フォーラムの様子

平成31年度当初予算案 審査報告

一般会計176億3千万円・特別会計89億8千万円・企業会計34億1千万円

総額300億2千万円

31年度当初予算案を『可決』

31年度当初予算案を3月会議において5日間に亘り審査しました。

審査の結果、一般会計176億3千万円、特別会計89億8千万円、企業会計34億1千万円の31年度当初予算案を「可決」しました。

審査にあたり事前に協議を行い、議会報告会などでいただいた意見を参考に、着目すべき市の課題を抽出し、その課題解決に向けた視点を十分に踏まえ審査しました。

①質疑・歳入

【問】固定資産税に係る新築家屋の推移は。

【答】31年度は260棟の新築を見込んでおり、その分、固定資産税が増えています。

【問】たばこ税に係る増の要因は。

【答】禁煙等の動きにより売り上げ本数は7％ほどの減を見込んでいますが、たばこ税の増と旧3級品の値上げに伴う増を見込んでいます。

【問】新規事業である森林環境譲与税の内容は。

【答】私有林面積割、林業就業者人口割などによって積算され、私有林などを整備するためのものです。

【問】地方消費税交付金の増の要因は。

【答】景気の伸びを勘案し、伸び率で3・3％を見込んで計上しました。

【問】地方交付税の増の要因は。

【答】普通交付税が34億6千万円程、特別交付税が3億円と見込んでおり、基準財政需要額の積み上げなどにより0・4％程度の増を見込んだ結果です。

【問】福祉施設土地使用料の増の要因は。

【答】滝沢市保育協会が運営する柳沢、元村、ふうりん保育園の土地使用料に関し、30年度で無償貸与期間が終わることから31年度から有償貸与になる増加分です。なお、滝沢市保育協会が運営する他の保育園も今後順次、有償となります。

【問】牧野使用料の増の理由は。

【答】預託施設の利用料、牧野放牧料の値上げによる増加です。

【問】子ども・子育て支援交付金の増の内容は。

【答】滝沢中央学童保育クラブ第一と第二の新設、なでしこ学童保育クラブの分割に伴う増額と、なでしこ保育園がこども園に移行することから、一時預かりを実施するための増額です。

【問】保育所等整備交付金の内容は。

【答】滝沢市保育協会が運営する川前保育園の改築建設費用です。2年間で完成をめざし、定員も90名から100名に増えます。

【問】認定こども園施設整備交付金の内容は。

【答】つばめ幼稚園の認定こども園化に伴う増築費用で、定員が240名から276名への増加を予定しています。

【問】ふるさと納税が減になった理由は。

【答】納税者の動向を踏まえて計上したものですが、今後の運用方法や内容など検討しながら納税環境を整えたいと考えています。